



学校だより 第15号

令和3年 12月 16日
新宿区立新宿西戸山中学校
校長 佐藤 浩
副校長 多久 知明



室伏広治スポーツ庁長官と 一九六四東京オリンピック 聖火台磨きを行いました！

校長 佐藤 浩



令和三年十二月五日(日)、国のスポーツ庁が主催する「国立競技場の見学と一九六四年聖火台磨き体験」に、本校の生徒会本部役員と各種委員会の委員長(または副委員長)の計九名が参加しました。

この一九六四年の東京五輪で使われた聖火台は、東京五輪以降も毎年十月十日前後に、製造した鈴木幸一氏、鈴木文吾氏、鈴木常雄氏(三兄弟)らによって丹念に磨かれ続けてきました。二〇〇九年から、ハンマー投げの室伏広治氏がその輪に加わり、現在まで続いているとのことです。

当日は、国立競技場内四階からの展望を楽しんだ後、室伏長官との記念撮影、ごま油を使った聖火台の磨き作業、そして、室伏長官との交流を行いました。生徒は、室伏長官と一緒に聖火台磨きに取り組んだり、事前に用意した質問をしたりするなど、室伏長官と交流を心から楽しんでいました。とても、有意義な時間を過ごすことができました。

■ 共同通信の「KYODONENWS」で配信されましたので、紹介します。

一九六四年東京五輪で使われた聖火台を磨くイベントが五日、設置場所の東京・国立競技場で行われ、スポーツ庁の室伏広治長官や宮城県石巻市、東京都内の子どもが参加した。製造時の努力や関係者が磨き続けていることに感銘を受け、二〇〇九年から取り組んでいる室伏長官は「後世に伝えることが大切。新しいスタジアムの前で磨けてよかった」と語った。

聖火台が一時貸し出されていた石巻市でも現在設置されているレプリカを磨き、オンラインで映像をつないで同時に作業した。室伏長官は「びかびかになった。今回(の東京五輪で)活躍したオリンピックアンとも磨く機会があれば」と期待を語った。【共同通信：十二月五日(日) 一八時二六分配信】

3年生進路面接練習 生徒は自らの夢と目標について大いに語りました

12月2日から8日までの5日間、今年で3年目になりますが、地域協働学校進路指導支援部の主催で、地域の大学や民間企業、町会等の方々にご協力いただき、3年生進路面接練習を行いました。

この練習日に向けて、生徒は事前学習として、志望した理由、高校でやりたいこと、中学校での思い出など、それぞれが考えをまとめてきました。

面接前の待機場所の生徒は、この日初めて会う面接官との面接練習とい



うこともあり、とても緊張していました。一人12分ほどの練習でしたが、面接官と向き合い、自らの考えをしっかりと伝えようと懸命に話していました。面接官の方々からも、「これまでの自分自身としっかりと向き合って考えをまとめていました。質問に懸命に答える姿勢がとても力強かったです。」とお褒めの言葉をいただきました。目標を定め、その目標について志をもち、気持ちも随分と高まってきたなど感じました。年明けの1月26・27日に、都立高校の推薦試験があります。その前には、もう一度練習をしたいと思います。

吹奏楽部が「ポピュラステージ吹奏楽コンクール全国大会」に出場！

9月20日の第6回全国ポピュラステージ吹奏楽コンクール東日本大会で見事銀賞を受賞し、全国大会出場を決めた本校と早稲田大学高等学院・中学部、練馬区立石神井中学校の3校合同チームが、11月27日（土）、神奈川県横須賀市の横須賀芸術劇場大劇場で開催された全国大会に出場しました。東日本大会後は、様々な学校行事の取組が重なり、3校そろっての合同練習の時間を十分にとることができませんでしたが、リモートでつながり打ち合わせを繰り返すなど、様々な工夫をして練習を積み重ねてきました。

こうした努力が報われたのか、全国大会本番では、3校が息を合わせて最後まで演奏しきることができました。また、見事に第3位という賞を獲得することができました。本当に素晴らしい限りです。また新しく大きな1歩を踏み出すことができました。おめでとう！

■会場となった横須賀芸術劇場大劇場。あまりにも美しく、そして、重厚な造りに圧倒されました。このような素晴らしい劇場で演奏できたことも、大きな喜びの一つであり、生徒にとっては、一生の思い出、宝物になることでしょう！



<吹奏楽部 部長 2年D組 Aさんのコメント>

コロナ禍で様々な制限があるなか、三校合同というかたちで全国3位をいただけたことをとても嬉しく思っています。この賞をいただけたのは顧問の戸張先生と藤山先生をはじめ、大会関係者の方、そして、いつもそばにいてくれた家族など、たくさんの方の協力があったことだと思います。本当にありがとうございました。本番に向けて限られた回数での合同練習の中で、1回1回集中して取り組むことで内容の濃い充実した練習を行うことができました。また、校外への遠征を通して、公共の場でのマナーや自ら考えて行動する力など、人として身に付けるべき言動や態度を養うことができました。演奏の技術はもちろん、精神的な面でも成長することができました。今回いただいた賞をゴールとするのではなく、今後さらに飛躍していくための通過点として捉え、吹奏楽部一同、切磋琢磨し、頑張っていきます。応援よろしくお願ひします！！



令和3年度新宿区メニューコンクール 優秀賞を受賞！

1年E組Bさんが、メニューコンクールで見事に「優秀賞」を受賞しました。

メニュー名は「自家製ドライトマトでおいしさアップ！ミートローフ」です。本メニューのアピールポイントを紹介します。

「弟が野菜が苦手なのでみんなが好きな肉と一緒にしようと思い、ミートローフにしました。そして、トマトは屋上で育てているトマトを使い、ドライトマトにして、トマトを甘くしました。さらに、ミートローフはフライパンがいらないので、火を使う危険がないのでおすすめです。」

なお、審査委員長の東京調理製菓専門学校長の田中康善さんから、次のように好評いただきました。

「野菜嫌いの弟さんへの愛情がレシピにこもっていますね。ひき肉に自家製トマトで作ったドライトマトを混ぜ込み、うま味を上手く活用し、野菜を細かく刻むなど、野菜を食べやすくする工夫が上手にできています。ゆで卵のインパクトも良いです。」

とても美味しそうなメニューですね。みなさんもぜひ小野塚さんが提案する「ミートローフ」を調理してみましょう！

